

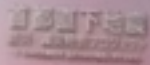


IAL HOTEL



IMPERIAL HOTEL



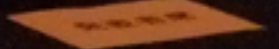
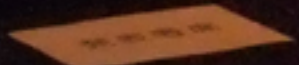


首都直下地震防災・減災特別プロジェクト  
広域的危機管理・減災体制の構築に関する研究  
第1回成果発表会

## 開会挨拶

10:00 ~

文部科学省防災科学技術推進室長 渡邊 淳  
東京工業大学 教授 本蔵義守(プロジェクトリーダー)





IMPERIAL HOTEL



首都直下地震防災・減災特別プロジェクト  
広域的危機管理・減災体制の構築に関する研究  
第1回成果発表会

## 開会挨拶

10:00 ~

文部科学省防災科学技術推進室長 渡邊 淳  
東京工業大学 教授 本藏義守(プロジェクトリーダー)





IMPERIAL HOTEL



IMP

ERIAL HOTEL



IMPERIAL HOTEL



IMPERIAL HOTEL



IMPERIAL HOTEL





首都直下地震防災・減災特別プロジェクト  
広域的危機管理・減災体制の構築に関する研究  
第1回成果発表会

# 開会挨拶

10:00 ~

文部科学省防災科学技術推進室長 渡邊 淳  
東京工業大学 教授 本藏義守(プロジェクトリーダー)



首都直下地震防災・減災特別プロジェクト  
広域的危機管理・減災体制の構築に関する研究  
第1回成果発表会

## 開会挨拶

10:00 ~

文部科学省防災科学技術推進室長 渡邊 淳  
東京工業大学 教授 本蔵義守(プロジェクトリーダー)



# なぜ首都直下地震なのか



南関東で発生した地震 (M6以上、1600年以降)

- ◆首都地域では、2~3百年間隔で関東大震災クラス(M8)の地震  
 ◁ 今後100年以内に発生する可能性はほとんどないことから除外

◆この間に、M7クラスの直下地震が数回発生 ◁ 今回の対象

- 凡例
- : マグニチュード8クラス
  - : マグニチュード7クラス
  - : マグニチュード6クラス

中央防災会議資料

首都圏直下地震と防災対策(2011) 1  
 © 2011 国土交通省





IMPERIAL HOTEL







IMPERIAL HOTEL



Gr3「広域的危機管理・減災体制の構築に関する研究」

## 参画型研究会の実施

1. H19.7 キックオフ・ワークショップ
  2. H19.8 第1回ファシリテーターWS
  3. H20.3 下町ワークショップ
  4. H20.6 第2回ファシリテーターWS(3回)
  5. H20.7 都心ワークショップ
  6. H20.12. 第3回ファシリテーターWS
  7. H21.1 山の手ワークショップ
- 赤<全体>青<研究チームから数名が参画>

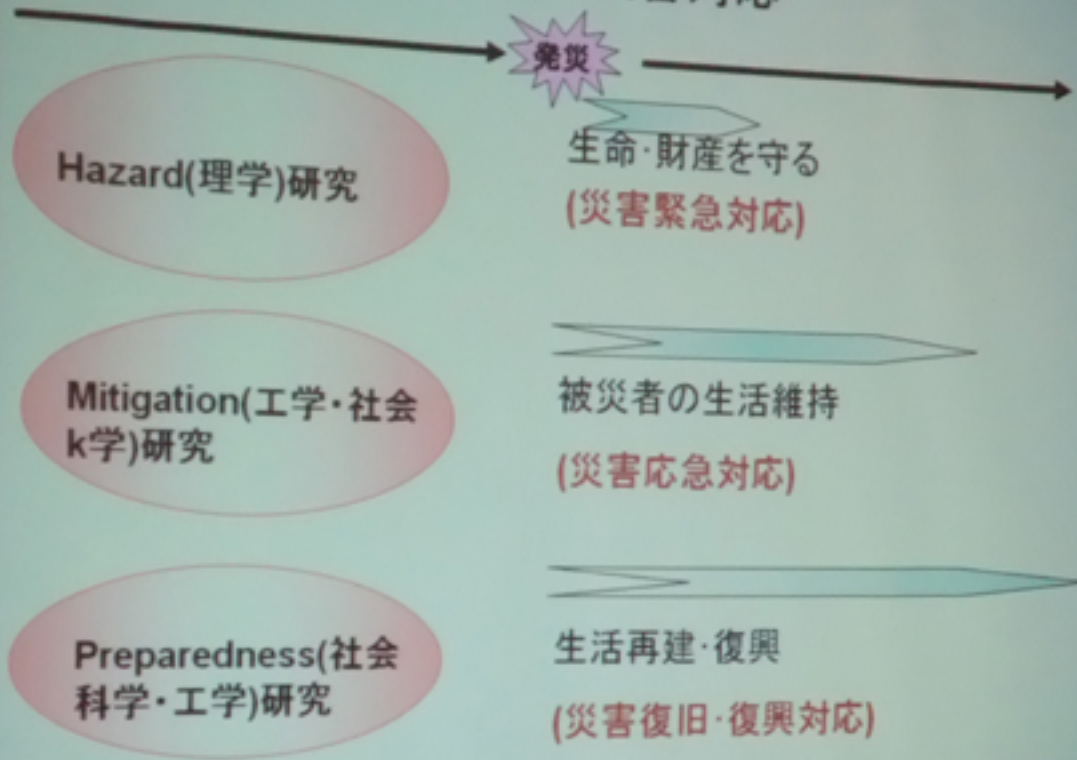








# 防災研究・災害対応



IMPERIAL HOTEL



IMPER

IMPERIAL HOTEL



IMPERIAL





IMPERIAL HOTEL



IMPE

平成20年度 第1回成果発表会

効果的な行政対応態勢の確立：一元的危機管理対応体制の確立【重川チーム】

## 被害の認定にかかるシステムの提案

富士常葉大学 准教授 田中聡

2009.02.27



IMPERIAL HOTEL





IMPERIAL HOTEL





## 広域的情報共有と応援体制の確立

広域連携のために必要不可欠な情報共有の基盤として、事前、事後、対応、復旧・復興過程に対応できる情報共有プラットフォームを構築した上で、広域連携による応援体制を構築し、広域的危機管理・減災対策を構築する。

- (a) 広域連携体制の構築とその効果の検証  
(東京大学生産技術研究所、消防庁消防研究センター、宇宙航空研究開発機構 (JAXA))
- (b) 広域連携のための情報コンテンツの構築  
(山梨大学)
- (c) 情報システム連携の枠組み構築  
(産業技術総合研究所)
- (d) 広域連携システムのための汎用災害情報ビューアの構築 (東京大学)



IMPERIAL HOTEL





IMPERIAL HOTEL



IMPERIAL HOTEL



IMP

# 紹介する個別システム（1）

- 航空機運航情報の共有
  - JAXA D-NET(災害救援航空機情報共有ネットワーク)
  - 東京大学竹内研 汎用災害情報ビューア 天窓



IMPERIAL HOTEL



IMPERIAL HOTEL



IMPERIAL HOTEL



IMPERIAL HOTEL



IMPERIAL HOTEL





IMPERIAL HOTEL





IMPERIAL HOTEL



IMPE



IMPERIAL HOTEL



IMPER



IMPERIAL HOTEL





IMPERIAL HOTEL





IMPERIAL HOTEL





IMPERIAL HOTEL





IMPERIAL HOTEL





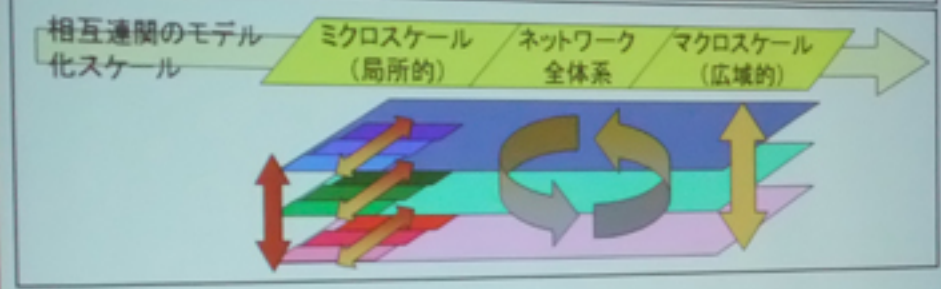
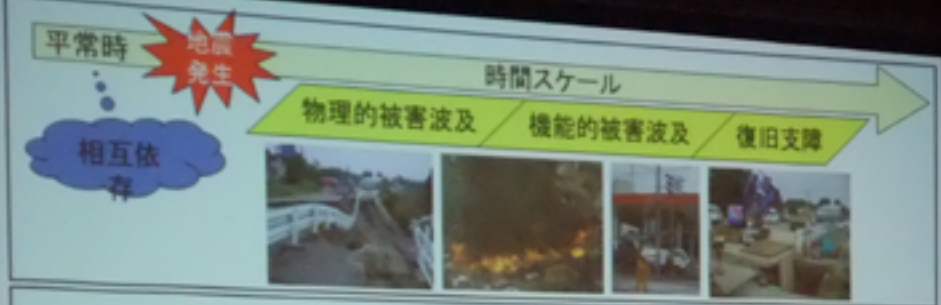


IMPERIAL HOTEL



IMPERIAL HOTEL





地震に関連したライフラインの復旧業務に際する課題 (山崎 雅之)

ライフラインの相互連関構造の分析とそのモデル化

京大防災研究所 防災研究 2017年 1  
Copyright © 2017-2018 京大防災研究所 2017.02.27



IMPERIAL HOTEL



## ■ 発表内容

1. 研究の概要・自律分散型拠点のイメージ
2. 区庁舎の実態調査(エネルギー供給系、水供給処理系)
  - － 水供給に関する調査・分析
  - － 電力供給に関する調査・分析
3. 拠点構築の可能性に関する検討・ケーススタディ
4. まとめ



IMPERIAL HOTEL



IMPERIAL HOTEL



IMPER

IMPERIAL HOTEL







自律分散型制点構築による  
地震防災力向上

項目	内容
1	自律分散型制点構築の概要
2	自律分散型制点構築の効果
3	自律分散型制点構築の実施
4	自律分散型制点構築の課題
5	自律分散型制点構築の展望



自律分散型拠点構築による  
地域防災力向上

防災研究センター  
防災研究センター

項目	内容	備考
1	...	...
2	...	...
3	...	...
4	...	...
5	...	...
6	...	...
7	...	...
8	...	...
9	...	...
10	...	...
11	...	...
12	...	...
13	...	...
14	...	...
15	...	...
16	...	...
17	...	...
18	...	...
19	...	...
20	...	...









Speaker: A man in a brown suit, standing and speaking into a microphone.

Participant 1: A woman in a grey suit, seated on the left side of the table, looking towards the speaker.

Participant 2: A man in a dark suit, seated in the foreground, looking towards the speaker.

Participant 3: A man in a dark suit, seated behind the man in the foreground, looking towards the speaker.

Participant 4: A man in a dark suit, seated on the right side of the table, looking towards the speaker.

Participant 5: A name tag or document on the table in the bottom right corner, with some illegible text.





IMPERIAL HOTEL





平成20年度 第1回成果発表会

地域・生活再建過程の最適化に関する研究【中林チーム】

## チーム紹介と首都直下地震の復興研究の意義

首都大学東京 教授 中林一樹

2008.02.27





IMPERIAL HOTEL





IMPERIAL HOTEL



IMPE

平成20年度 第1回成果発表会

地域・生活再建過程の最適化に関する研究【中林チーム】

## 首都直下地震の被害特性と都市復興イメージ

東京大学大学院工学系研究科 助教 加藤孝明

東京大学大学院工学系研究科 加藤孝明



地域・生活再建過程の最適化に関する研究【中林チーム】  
「市街地復興政策検討支援システムの構築」メンバーリスト

- 加藤孝明: 都市計画・都市防災  
- 東京大学大学院工学系研究科・都市工学専攻・助教
- 田中淳: 災害社会学  
- 東京大学大学院情報学環・総合災害情報センター・教授
- 佐藤慶一: 都市防災  
- 東京大学社会科学研究所・助教
- 廣井悠: 都市解析・都市計画  
- 東京大学大学院工学系研究科・都市工学専攻・特任助教
- 関谷直也: 災害情報学  
- 東洋大学社会学部・講師
- 中村仁: 都市計画・まちづくり  
- 東京大学大学院工学系研究科・都市工学専攻・特任助教



IMPERIAL HOTEL



IMPERIAL HOTEL



RIAL HOTEL



IMPERIAL HOTEL



## [プロジェクトの背景]

- 阪神淡路大震災では、神戸の中でも東西の復興格差ができ、東側に比べて西側は苦勞している。
- 首都圏においても復興のアンバランスが生じる可能性がある。
- 国土交通省の「首都圏整備における防災面からの検証調査」(平成19年)では、都と内閣府の被害想定をベースに、被害地域の容積利用の増加を算出している。おおよそ33万人から110万人の人口増が見込まれ、「何のコントロールも無い市場原理に任せた復興では東京の過密と高層化をより一層深刻化するという危険性の示唆」(「水辺密集地域の復興をどう考えるか」佐藤隆雄、復興デザイン研究(日本災害復興学会ニュースレター)第8号)



AL HOTEL



IMPERIAL HOTEL



IMPERIAL HOTEL



IMPERIAL HOTEL





IMPERIAL HOTEL

IMPERIAL HOTEL

PANEL

HOTEL

IMPERIAL HOTEL



HOTEL

IMPERIAL HOTEL





IMPERIAL HOTEL



# 効果的な行政対応態勢の確立： 効果的な研修・訓練システムの確立【林チーム】

## 4つの課題

- 1) 研修・訓練のための社会システムの構築
- 2) 過去の災害事例等に基づいた研修・訓練システム研究
- 3) 災害対応従事者として有すべき業務遂行能力を数量的に評価する用具の開発
- 4) シナリオ作成型災害リスクコミュニケーション手法に関する研究開発

## 研究分担者

京都大学 浦川 豪・鈴木進吾・川辺秀憲

同志社大学 立木茂雄

新潟大学 田村圭子・井ノ口宗成

大分大学 山崎栄一

名古屋大学 木村玲欧・林能成(現静岡大学)

防災科学技術研究所 長坂俊成・永松伸吾・臼田裕一郎・坪川博彰

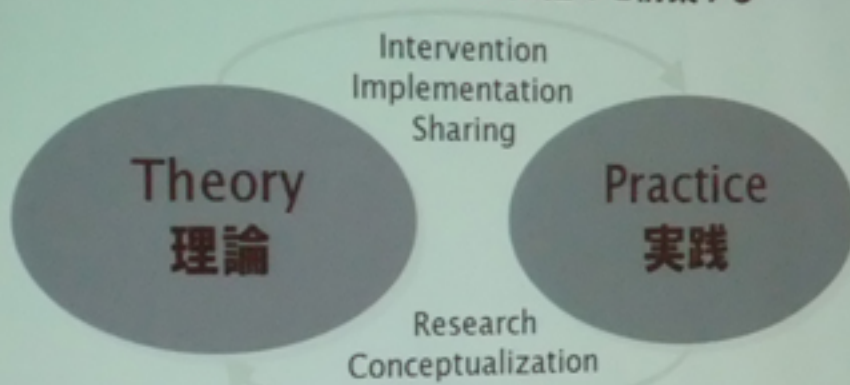


# Action Research

There is no more practical than a good theory

K. Lewin

効果的な災害対応の実現のために、過去の知見と新しい技術を現地の対応支援に生かすことのできる仕組みを構築する



現場での活動を通して、  
新しい問題を発見し、その解決法を研究する







IMPERIAL HOTEL



IMPERIAL HOTEL



IMPERIAL HOTEL



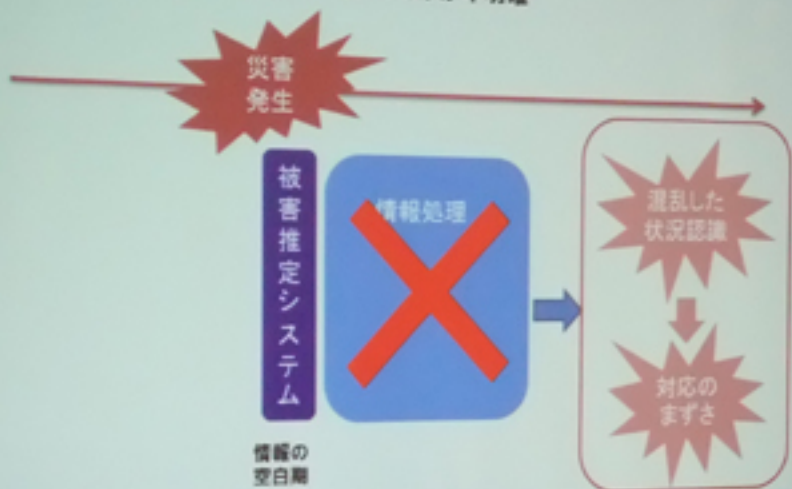
IMPERIAL HOTEL



# 研究の背景

## 従来型の危機対応時の情報処理

- すべてがAd hocに作られる(体制・システム・データ)
- 何のために情報処理をするかが不明確



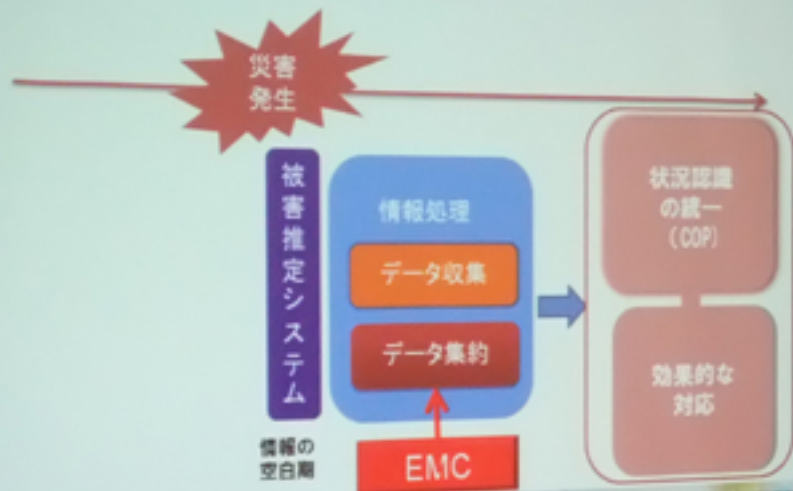
災害対応の体制整備の課題：危機対応体制・情報システムの構築【中野一博】  
状況認識の統一のためのEmergency Mapping Center活動

災害対応の体制整備の課題：危機対応体制・情報システムの構築【中野一博】  
状況認識の統一のためのEmergency Mapping Center活動



# 本研究で目指す危機対応時の情報処理

- Emergency Mapping Center(EMC)による139種類の地図作成
- 状況認識の統一のために情報処理



防災行政情報センターの設立・効果的な情報・連携システムの構築（研究チーム）  
状況認識の統一のためのEmergency Mapping Center活動

災害発生から対応までの時間短縮  
2



IMPERIAL HOTEL



IMPERIAL HOTEL



IMPERIAL





平成20年度 第1回成果発表会

効果的な行政対応姿勢の確立：効果的な研修・訓練システムの確立【林チーム】

## 被災者台帳を用いた統合的な生活再建支援

新潟大学災害復興科学センター 助教 井ノ口宗成

2009.02.27



IMPERIAL HOTEL



IMPERIA



平成20年度 第1回成果発表会

効果的な行政対応姿勢の確立：効果的な研修・訓練システムの確立【林チーム】

## 被災者台帳を用いた統合的な生活再建支援

新潟大学災害復興科学センター 助教 井ノ口宗成

2009.02.27





IMPERIAL HOTEL







ERIAL HOTEL



IMPERIAL HOTEL





2012 年 11 月 20 日  
16:30 - 17:00

総会討議 何をめざすのか  
2012 年 11 月 20 日 16:30 - 17:00





総合討論: 何をめざすのか  
16:30 ~ 17:00

総合討論: 何をめざすのか  
16:30 ~ 17:00



Speaker: A man in a dark suit, holding a microphone, addressing the group.

Attendee: A man in a dark suit, looking down at papers on the table.

Attendee: A woman with long dark hair, seen from the side, looking towards the speaker.

Attendee: A man in the foreground, seen from the back, wearing glasses and resting his chin on his hand.


Equipment: Two laptops on the table, one with a blue screen and another with a white screen.

Water Bottle: A clear plastic bottle of water on the table.

Water Bottle: A clear plastic bottle of water on the table.

Water Bottle: A clear plastic bottle of water on the table.

Water Bottle: A clear plastic bottle of water on the table.



総合討論:何をめざすのか  
16:30 ~ 17:00

総合討論:何をめざすのか  
16:30 ~ 17:00

~ 17:00

IMPERIAL HOTEL



提供者全員+聴衆

00

心の準備・内と外

モデレーター: 京都大学防災研究所 准教授  
討論者: 各チームリーダー+当日の話題

16:30 ~ 17:00



# 総合討論：何をめざすのか

モデレーター：京都大学防災研究所 准教授 牧 紀男  
討論者：各チームリーダー＋当日の話題提供者全員＋聴衆

16:30 ~ 17:00



# 総合討論：何をめさすのか

モデレーター 京都大学防災研究所 准教授 牧 紀男  
討論者 各チームリーダー＋当日の話題提供者全員＋聴衆

16:30 ~ 17:00



討論者：各チームリーダー＋当日の話題提供者全員＋聴衆

16:30 ~ 17:00

IMPERIAL HOTEL













# 総合討論：何をめざすのか

モデレーター：京都大学防災研究所 准教授 牧 紀男  
討論者：グループリーダー＋当日の話題提供者全員＋聴衆

16:30 ~ 17:00



# 総合討論：何をめざすのか

モデレーター：東京大学防災研究所 准教授 牧 紀男  
討論者：各研究員十名＋当日の話題提供者全員＋聴衆

16:00 ~ 17:00



# 総合討論：何をめざす

モデレーター：京都大学防災研究所 准教授 牧 紀  
討論者：各チームリーダー＋当日の話題提供者全

16:30 ~ 17:00















16.30 ~ 17.00



16:30 ~ 17:00



# 総合討論：何をめざすのか

モデレーター：京都大学防災研究所 准教授 牧 紀男  
討論者：各チームリーダー＋当日の話題提供者全員＋聴衆

16:30 ~ 17:00



# 討論:何をめざすのか

京都大学防災研究所 准教授 後 紀男  
チームリーダー+当日の話題提供者全員+聴衆

16:30 ~ 17:00





# 合討論：何をめざすのか

ター：京都大学防災研究所 准教授 牧 紀男  
者：各チームリーダー＋当日の話題提供者全員＋聴衆

16:30 ~ 17:00

